

2018	日	本
産	第53回	業
広	告	賞

参加要項





第53回 日本産業広告賞のご案内

日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。

53回目に当たります今回の日本産業広告賞も本賞制定の目的達成に向けて更に前進するため、新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募ることにいたしました。

時代のスピードに対応しつつも、時として厳しい経済環境に直面している産業界で、企業理念の発露として、またマーケティング活動の一環として、産業広告がその役割を十分に発揮する必要性が高まっております。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第53回 日本産業広告賞

《新聞部門》

〔日刊工業新聞〕

日刊工業新聞広告大賞

本社賞(楯)

- 第1部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金30万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- 第2部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金30万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- 第3部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金25万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金15万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金8万円・海外研修招待
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- 第4部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金5万円
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- シリーズ第1部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金30万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- シリーズ第2部——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金5万円
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
- モノクローム広告賞——第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待
第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円・海外研修招待
第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金5万円・海外研修招待
佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー
※特別賞に該当する場合(各部とも若干点)本社賞/賞状・記念品

《雑誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(3点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞/賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞/賞状・記念品

《情報誌部門》

第1席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金20万円・海外研修招待

第2席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞/賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(2点) 本社賞/賞状・賞金3万円、産業団体賞/トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞/賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞/賞状・記念品

新聞部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で新聞部門は日刊工業新聞(全国版)への掲載をもって参加資格といたします。
なお応募点数についても制限はありません。

■**審査対象**—————〔日刊工業新聞〕
《日刊工業新聞広告大賞》新聞部門の第1部、第2部、第3部、第4部、シリーズ第1部、シリーズ第2部、モノクローム広告賞の第1席入席作品を対象とする。
《第1部》スペース30段(連版を含む)以上を対象とする。
《第2部》スペース15段以上30段未満を対象とする。
《第3部》スペース7段以上15段未満を対象とする。
《第4部》スペース2.5段以上7段未満を対象とする。
《シリーズ第1部》スペース10段以上で、3点以上を対象とする。
《シリーズ第2部》スペース10段未満(雑報含む)で、3点以上を対象とする。
《モノクローム広告賞》
スペース制限なし。白黒のスミ刷とする。

■**掲載期間**—————平成29年9月18日(月)～平成30年9月14日(金)

■**入賞発表**—————平成30年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。
●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。
●カラー作品については、掲載日の調整をお願いすることがあります。
※同一図案のフルカラー作品とモノクロ作品を新聞部門に応募する場合はどちらか一方の作品のみ応募を認めます。
※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

雑誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の月刊誌6誌に掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。

なお応募点数についても制限はありません。

■**掲載雑誌**—————プレス技術・機械設計・機械技術・工業材料・型技術・工場管理

■**審査対象**—————1頁以上(挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————平成29年10月号～平成30年9月号

■**入賞発表**—————平成30年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●6誌の同月号に同じ作品を2誌以上掲載する場合は、発行日の早い雑誌のものを参加作品とします。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●カラー(4色)広告のポジ合成は2点以内。

●広告原稿は、データ入稿を原則とします。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

情報誌部門参加規定

■**応募要領**—————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の「新製品情報」誌への掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。なお応募点数についても制限はありません。

■**審査対象**—————4/4頁以上(挿込みを含む)。

■**掲載月号**—————平成29年10月号～平成30年9月号

■**入賞発表**—————平成30年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■**注意事項**—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●広告原稿は弊社の仕様書に沿って完全データで入稿して下さい。出力見本を必ず2枚添付して下さい。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

審査委員／表彰式

審査委員長
早稲田大学商学大学院教授

嶋村和恵

多摩美術大学名誉教授

田保橋 淳

東京アートディレクターズクラブ会員

中森陽三

専修大学経営学部教授

石崎 徹

青山学院大学経営学部教授

芳賀康浩

日本工作機械工業会専務理事

石丸 雍二

日本産業機械工業会代表理事専務理事

田中 信介

日本電機工業会代表理事専務理事

海老塚 清

旭化成株式会社広報室長

楠神輝美

岩谷産業株式会社

執行役員広報部長

長谷川 宏明

NEC コーポレートマーケティング本部

シニアマネージャー

広津留 大輔

キヤノン株式会社

渉外本部コーポレートブランド推進部長宣伝部長

花田 一成

株式会社クボタ

理事コーポレート・コミュニケーション部長

細谷 祥久

コマツ

コーポレートコミュニケーション部長

本多 孝一

株式会社スギノマシン取締役 専務執行役員

江下 邦昭

株式会社東芝営業統括部広告部
国内担当部長

鈴木 春次

日立建機株式会社経営管理統括本部
ブランド・コミュニケーション本部長

早水 紀雄

富士ゼロックス株式会社広報宣伝部長

中島 康光

富士通株式会社マーケティングコミュニケーション本部
チーフコミュニケーションプロデューサー

山口 泰弘

株式会社富士通エフサス

広報・宣伝部 シニアディレクター

花里 菊哉

富士電機株式会社

社長室 宣伝部長

大山 和則

パナソニック株式会社エコソリューションズ社

宣伝・広報部宣伝制作課担当部長

田村 俊樹

三木プリー株式会社代表取締役会長

三木 治一

三菱電機株式会社宣伝部長

関 邦彦

株式会社安川電機広報・IR 部部長

林田 歩

日刊工業新聞社取締役大阪支社長

竹本 祐介

日刊工業新聞社執行役員業務局長

横山 隆行

日刊工業新聞社執行役員出版局長

奥村 功

日刊工業新聞社大阪支社業務局長

芦内 秀郎

日刊工業新聞社業務局長

玄 蕃 由美子

(順不同 敬称略)

平成29年9月現在

- 審査**———上記審査委員による「日本産業広告賞審査委員会」で厳正に行われます。産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、アイデア、デザイン、コピーを勘案して総合的に審査します。
- 表彰式**———平成30年11月中旬、東京都内のホテルにて新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の関係者多数の出席により、第53回日本産業広告賞の表彰式を執り行います。
- その他**———●本賞の実施に要する表彰式、海外研修など一切の費用は日刊工業新聞社の負担とします。
●本賞の詳細について、また応募にあたってのお問い合わせは本社、支社の係までご連絡ください。

産業広告海外研修団



- 第48回産業広告海外研修団——第48回は平成28年11月28日から12月3日まで6日間の日程でオーストラリアの企業を訪問し、産業広告に関する研修を行いました。
- 第49回産業広告海外研修団招待——新聞部門の第1部、第2部、第3部、シリーズ第1部、モノクローム広告賞の各第1席・第2席・第3席、第4部、シリーズ第2部の各第1席・第2席、雑誌部門と情報誌部門の各第1席の広告担当責任者の方々を表彰式後に海外の産業広告事情研修にご招待いたします。
- その他——国内に出先機関のない外国企業が入賞された時には、海外への招待はご遠慮いただく場合もあります。

《協賛経済・産業団体》

(予定・50音順)

石 油 連 盟
日本アルミニウム協会
日本機械工業連合会
日本経済団体連合会
日本工作機械工業会
日本産業機械工業会
日本自動車工業会
日本商工会議所
日本生産性本部
日本鍛圧機械工業会
日本鉄鋼連盟
日本電気協会
日本電機工業会
日本BtoB広告協会
日本フルードパワー工業会
発 明 推 進 協 会



本 社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7310(直通)
東 京 支 社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7266(直通)
大 阪 支 社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16 ☎06(6946)3351(直通)
名 古 屋 支 社 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 ☎052(931)6155(直通)
西 部 支 社 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 ☎092(271)5716(直通)

<http://www.nikkan.co.jp>